

定額減税しきれないと見込まれた方等への追加の給付金 (定額減税補足給付金(不足額給付))について

令和6年分の所得税および令和6年度分の個人住民税所得割の定額減税の対象者で、当初調整給付(※)の支給額に不足が生じる方に不足額を支給します。

※令和6年度に「定額減税しきれないと見込まれた方」に対しては、当該減税しきれないと見込まれた額を基礎として調整給付金(当初調整給付)を支給しています。(支給期間:令和6年8月~11月)

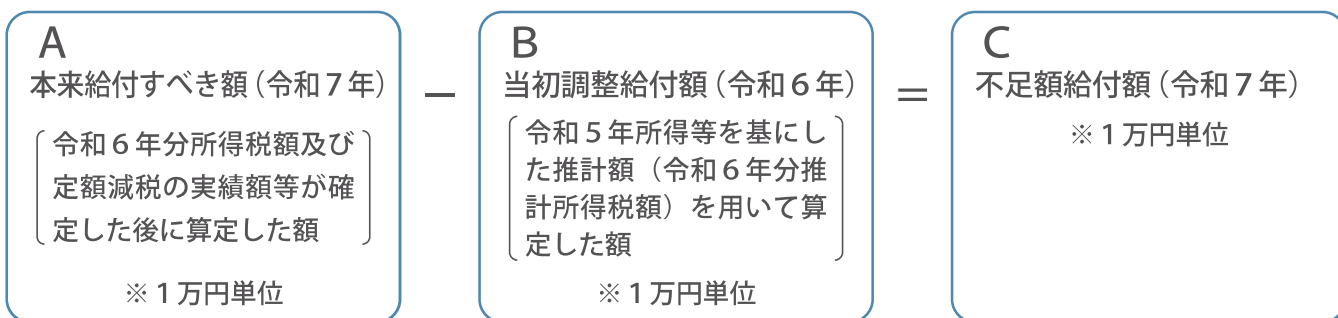
【支給対象者】

原則として令和7年1月1日時点で福崎町に住民登録がある人(※)で、次のⅠ・Ⅱのどちらかに該当する人

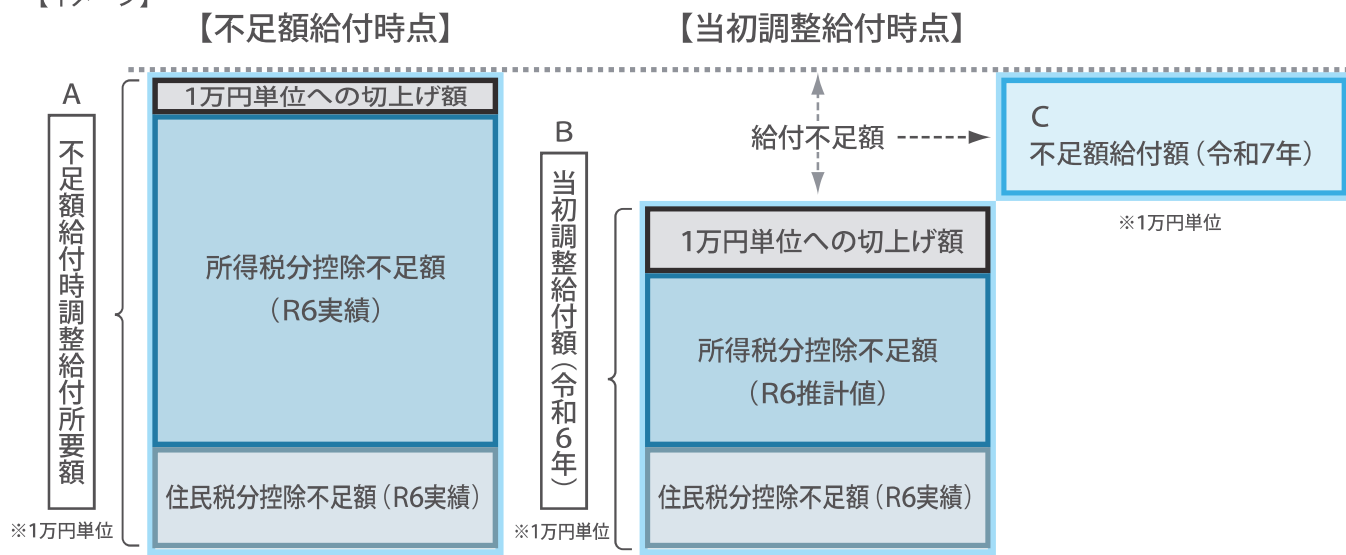
※令和7年1月1日に福崎町に住民登録があった場合でも、令和7年度個人住民税が他市町村で課税されている場合は、令和7年度個人住民税を課税している自治体から不足額給付金が支給されます。

Ⅰ 当初調整給付(令和6年度)の支給額に不足が生じる人

給付額



【イメージ】



注1: 所得税・個人住民税所得割あわせて既に4万円の定額減税を受けられている人、または合計所得金額1,805万円超の人は調整給付の対象とはなりませんのでご注意ください。

注2: A「不足額給付時調整給付所要額」がB「当初調整給付額」を下回った場合にあっては、余剰額の返還は求めません。

<給付対象となりうる例>

- (例1) 令和6年分推計所得税額に比べ、令和6年分確定所得税が減少した。
- (例2) 令和5年中に収入がなく、就職によって令和6年中に収入が発生した。
- (例3) 扶養親族等が令和6年中に増加した(こどもの出生など)。
- (例4) 当初調整給付後に税額修正等で令和6年度個人住民税所得割額が定額減税可能額より少なくなった。

II 専従者・合計所得48万円超で諸要件に該当する人

給付要件

以下(1)～(3)のすべてに該当すること。(納税義務者の合計所得金額が1,805万円超の場合は対象外)

- (1) 令和6年分所得税と令和6年度個人住民税所得割のどちらも、定額減税前の税額が0円である
- (2) 事業専従者(※)(青色・白色)、合計所得金額48万円超のいずれかに該当する

※事業専従者とは家族経営等で個人事業主と生計を一緒にしている配偶者や親族で、年間6か月以上、個人事業主の営む事業に従事している人

- (3) 低所得世帯向け給付の世帯主や世帯員に該当しない(※)

※ここでの「低所得世帯向け給付の対象世帯の世帯主・世帯員」とは、下記の給付金の対象となった世帯主・世帯員を指します。

- ・令和5年度非課税世帯給付金(7万円)
- ・令和5年度均等割のみ課税世帯給付金(10万円)
- ・令和6年度非課税世帯等給付金(10万円)

給付額

1人当たり原則4万円

※令和6年1月1日時点で国外居住者であった場合は3万円

◆給付金の支給について

給付金の支給については、9月初旬ごろに、対象となる人へ個別に郵送でご案内します。現時点では、対象者情報を整理中のため、個別・具体のお問い合わせにはお答えができませんのでご了承ください。

⚠ 特殊詐欺などにご注意ください ⚠

町が給付金支給にあたってATM(現金自動預払機)の操作や手数料の振込みなどを求めることは絶対にありません。不審な訪問や電話、メール等があった場合は、最寄りの警察署か警察相談専用電話(＃9110)へご連絡ください。

・内閣官房ホームページ 給付金・定額減税一体措置もご覧ください。
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/benefit2023/index.html>



問い合わせ先 税務課(内線341、342)

児童扶養手当・特別児童扶養手当

8月は「現況届」の提出月です

児童扶養手当・特別児童扶養手当を受けている人は、毎年8月に受給者と児童の状況についての現況届が必要です。8月上旬に児童扶養手当、中旬に特別児童扶養手当の「現況届案内文書」を送付しますので、8月中に住民生活課で手続きをしてください。

※手当額、所得制限額、受給要件など、詳しくは係までご相談ください。

問い合わせ先 住民生活課(内線376)

児童扶養手当とは?

ひとり親家庭の父もしくは母、または父母に代わって児童を養育している人に支給される手当です。また、父(母)に一定の障がいがある場合にも支給されます。

特別児童扶養手当とは?

身体または精神に障がいのある児童を監護する父もしくは母、または父母に代わってその児童を養育している人に支給される手当です。

松岡五兄弟

柳田國男・松岡家

第84話



福崎の身近にある歴史を掘り起こそう

柳田國男・松岡家と生野の縁

神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 井上 舞

「変」にも協力し、収束後に言葉巧みに言い逃れて罪を免れたといえます。

ここまでのエピソードは、柳田國男が『故郷七十年』で語っており、福崎でもよく知られています。

今回は、松岡五兄弟と、生野（現・朝来市生野町）との縁について紹介します。生野には、兄弟たちの祖父・松岡至が住んでいました。

松岡至は、網干（現・姫路市）の中川家に生まれ、その後、兄弟たちの祖母・小鶴の夫となって松岡家に入りました。しかし、妻や義父である松岡左仲と折り合いが悪く、長男の操が生まれて間もなく、離縁して松岡家を出たことになりました。松岡家を出た至は生野へと移り住み、医業を営んでいたようですが、やがて生野にあった真継という家に入り、真継陶庵の名で知られるようになります。そして、真偽のほどは定かでないものの、幕末に起こった尊皇攘夷派の志士が起こした「生野の

を閉鎖しようとしたのです。

その際陶庵は、「才能のある人材を育てることは急務である、にもかかわらず学問所を廃止するとはどういうことか」と折田に詰め寄り、その意気に感心した折田は、学問所を廃止せず、「明德館」と名を改めるに止め、陶庵を教授としたというものです。

もうひとつは、息子の操に就いてのエピソードです。明治の初めごろ、操は「狷介（意思が硬く、他人と相容れない）」な性格から、大いに困窮し、助けを父の陶庵に求めました。しかし陶庵は、もし今自分が操を助けてしまつては、亡くなった義父に申し訳ないし、女手一つで操を育てた小鶴の苦勞が報われないといつて、ついに助けることをしなかったというものです。

しかし、『故郷七十年』などによれば、操が父親に会いに行こうとしたのは明治以前のことです。姫路藩の学問所である「好古堂」に在籍してい

たころとされています。

『朝来志』が載せるエピソードがどこまで真実であるかは定かではありません。ただ、真継陶庵であれば、こうした行動をとるだろうという認識が、人々の間にあったことは確かでしょう。そして、幼いころに離ればなれになったとはいえ、操にとつて陶庵は敬愛すべき父であったのでしよう。

ともかく、陶庵は松岡家と縁を切り、『朝来志』の記述を信じるならば、自分から松岡家と接点を持つことはなかったようです。しかし、陶庵の孫である兄弟たちは、陶庵のことを祖父と慕い、故郷辻川に帰る際には、しばしば生野の本行寺にある陶庵の墓にも詣でました。

柳田國男は、明治26年に帰郷した際に、弟の静雄と墓参りをしています。また、明治42年に北陸地方の視察に出かけた際にも生野を訪れていました。このときは真継家の隣に住んでいた「浜屋」という宿屋の主の案内で墓に行き、「予は性質も容貌も共に此翁に似たるかと思はる。懐かしさに絶えず」と書き残しています。

（『北国紀行』）

また一方で、真継陶庵や高祖父で「利かん気の性格」だった松之助のような、「松岡の家に伝わる一種の型」が一番濃く伝わっているのが静雄であるとも語っています。（『日蘭通交調査会』）

松岡兄弟にとって、真継陶庵は確かに松岡家の一員であり、陶庵の眠る生野の地は、辻川や北条と同様、兄弟たちにとって大切な場所だったので



本行寺

地域に学ぶ 出会い・感動・発見 2025トライやる・ウィーク



「トライやる・ウィーク」を終えて

福崎町立福崎西中学校長 岡本二仁

中学2年生を対象とした職場体験学習トライやる・ウィークは、28年目を迎えました。実施期間中には県内各地の様々な職場で「トライやる・ウィーク実施中」という幟を事業所に立てさせていただいており、今や兵庫県の風物詩となっています。本年度も多く事業所や地域・保護者の方々の深いご理解と多大なご支援・ご指導を賜り、無事実施できましたことに心より感謝申し上げます。

福崎西中学校、福崎東中学校の2年生169名が60事業所でお世話になりました。しかし、生徒の受入れに登録いただいた事業所は、69事業所で、受入れ総人数は219名でした。そのため生徒を派遣できない事業所があり、大変申し訳なく思っております。しかしながら、地域の学校をこよなく愛し支えていただいている本町の皆さまの温かさには、嬉しさや心強さの感に堪えません。誠に勝手なお願いでございますが、これからも引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、現在社会の生活や意識の変容により、若年層の人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下、失業率や就職後の早期離職率の高まり等、若年層の進路意識や目的意識の低下が懸念されています。

そのような中、学校の中では経験できないトライやる・ウィークでの職場体験は、生徒が直接働く人と接することにより、また、実践的な知識や技術・

技能に触れることを通して、学ぶことや働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることができます。さらに、生徒が主体的に進路を選択する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味を持っています。

望ましい勤労観、職業観の育成や、自己の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指す意欲の高揚を図る教育は、これからの社会を担っていく生徒たちにとって、より一層大切なものになってきています。トライやる・ウィークは、学校生活だけでは学ばれない、また、ご家庭でも伝えきれない“仕事”について実際に触れることで、自身の職業観を培うきっかけとなりました。同時に、地域の人々の温かさや良さ、ふるさとの恵みにふれる機会となり、地域とのつながりを深め、幅広い学びの場となりました。今後もトライやる・ウィークの活動を充実させていきたいと考えています。

最後になりましたが、生徒たちを受け入れていただきました事業所様、ご指導くださいました指導ボランティアの皆さま、福崎町教育委員会をはじめ、福崎町トライやる・ウィーク推進協議会、両中学校区推進委員会、トライやる・ウィークを支えてくださった全ての皆さまに深く感謝申し上げます。来年度以降も本年度同様のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

生徒の感想

■やっぱり人と喋るにはコミュニケーション能力が大事ということが分かりました。これからもっといろんな場面で積極的に動こうと思いました。たくさん地域の方と交流できて5日間があつという間に感じました。めったに入れないところにも入れてすごかったです。(福岡西中)



■これからも、礼儀やあいさつ、トライやる・ウィークの十か条を思い出して生活していきたいと思う。(福岡西中)



■自分だけを見ないで、周りのことも考えながら行動していきたいと、トライやる・ウィークを終えて思いました。(福岡西中)



■テキパキ動くことの大切さを知りました。わからないことはわからないままにしておかずちゃんと聞くことが大切だと思いました。学校とはぜんぜん違う環境で一週間過ごしてみて、大人になってアルバイトをしたら今回のトライやる・ウィークを思い出して自分から積極的に行動していけたらいいなと思いました。(福岡西中)



■トライやる・ウィークで色んな人に「頑張って！」や「ありがとう」と言われて、仕事は大変だったけどそんな人達の優しさで一週間頑張れました。これを機に自分の将来の仕事についても考えてみようと思いました。優しく指導してもらえたので、すごくわかりやすく楽しく真剣に活動に取り組みました。(福岡西中)



■働く楽しさや大変さを知り、自分の進路のことについて改めて考えようと思いました。(福岡西中)



※写真と感想は実施後のまとめからそれぞれ抜粋したものを掲載しており、相互に関連するものではありません。

■今回の体験を通して、美容師さんの仕事は、技術だけではなく人との接し方や気配りがとても大切だと感じました。(福岡東中)



■仕事をするって、楽しいことだけではなく、つらいこともしんどいこともあるけれど、やりがいを感じることができる素敵なものだと思います。(福岡東中)



■トライやる・ウィークを通して、家族との会話が増え、たくさんのことを学び、社会の厳しさや働くということについて深く考えることができました。(福岡東中)



■初めはとても緊張していて、子どもたちとうまく関われるか不安もありましたが、少しずつうちとけていく中で、笑顔や手を伸ばしてくれる仕草に元気をもらい、毎日がとても楽しくなりました。(福岡東中)



■私はあまり将来の事を考えたりすることはなかったのですが、このトライやる・ウィークでの体験を通して自分の将来について考えるきっかけになりました。(福岡東中)



■仕事の大変さがよくわかり、私たちのために働いてくれている人たちに、感謝の気持ちをより多く感じようになりました。(福岡東中)



■この一週間で出勤する姿や訓練する姿を見させていただき、より消防士になりたいと強く思うようになりました。(福岡東中)

【保護者の感想】

■普段の生活ではふれることのない現場を体験し、物流や商流の大切さを知ることができたようです。また、働いて人の役に立つことや、社会の仕組みを知る貴重な体験になったと思います。(福岡西中)

■5日間と短い間でしたが、普段経験できないことをさせていただいて、働くことの難しさ・大変さ・大切さ、たくさんの事を学び、考え、気付けたと思います。これからの自分自身にプラスになると思います。(福岡東中)

■どこで体験したいか真剣に悩み考えて事業所を選んでいました。1週間の体験が始まってからは、本当に生き活きと楽しそうに感想を話してくれました。上手いかず、失敗してしまっても「ええで〜」「大丈夫」とたくさんフォローして下さったことで伸び伸びと取り組んでいたようです。終了後の日曜日にお世話になった事業所へお客として出向き、支援して下さった従業員の皆様へニコニコと自ら声をかけたり挨拶をしたりしていました。本当に良い社会体験であったと感じています。働くことの意義を考える良い機会になったようです。(福岡西中)

■学校活動ではなかなかできない、人との関りや働くことの面白さ、大変さなどが経験できて、非常に有意義な1週間になったと思います。(福岡東中)

■保育の職場に行かせて頂いたのですが、帰ってくると毎回、「小さい子どもさんがとてもかわいかった」と話してくれました。夕食の時間にもトライやるの話で盛り上がっていました。また、子どもさんだけでなく、お母さんとも交流があったようで、人見知りがあると思っていたのに成長している面があつてうれしかったです。最終日には「しんどかったけど楽しかった」と言っていて参加できて良かったと思いました。(福岡西中)

■迎え入れてくださった事業所に感謝の気持ちでいっぱいです。一日一日反省点をふまえて明日はもう少しスムーズに動けるように、と考えている姿がとてもよかったです。学校の中だけでは感じることはできなかった体験や経験は、成長の中できっと役立つものだと思います。(福岡東中)

■仕事を体験して将来なりたいものを探そうと考える機会となったようです。(福岡西中)

■楽しく過ごせており、いつも以上に親子の会話が増えました。働くことの大変さやしんどさも少しは経験できたことと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。(福岡東中)

【事業所の感想】

■小さな仕事でも、責任を持ってやり遂げないといけないということが身についたと思う。

■素直な生徒さんばかりで、大変頑張っておられました。とても楽しく有意義なトライやる・ウィークでした。また、来年もよろしくお願いします。

■指導者がトライやる1期生で幼稚園で受け入れをしていただき、その後保育・教育への仕事についたこともあります。こどもの人生に関わる機会にもなっていると思っています。

■今年もいい経験をさせて頂きました。生徒さんの姿を見ながら、自分自身も身が引き締まりました。今後ともよろしくお願いします。

■この体験が生徒だけでなく、仕事を教える側にも日々の業務に対して見直すいい経験となりました。また来年も生徒さんが来てくれることを楽しみにしています。

■毎日、成長していく生徒さん達に、喜びを感じ、エネルギーをたくさんもらいました。

■4日間と短い期間でしたが、元気で素直な生徒さんたちと一緒に仕事できて、私たちも逆に元気をもらい多くの学びがありました。

■いろんな人と関わり、地域の方からの声掛けをいただいたり、普段関わらない人と関わっていくいい体験だと思います。

■プログラム内で必ず生産活動を陰で支える部署の体験を入れています。(ごみ回収や排水処理など)これら全ての部署で1つの商品ができるということを理解してもらい、日々の生活に生かしてほしいです。

令和7年度 「トライやる・ウィーク」登録事業所

農業関係

兵庫西農業協同組合 旬彩蔵 福崎
牛尾牧場
農事組合法人 西治宮農組合

販売関係

株式会社ライフコーポレーション福崎店
きもの多田 福崎店
株式会社銀ビルストア
ボンマルシェ福崎店
ファミリーマート福崎南インター店
ナンバホームセンター福崎店
株式会社マルフク
ゆずり葉
ユニクロ福崎店

自動車関係

ネットトヨタウエスト兵庫株式会社 福崎店
ネットトヨタ兵庫株式会社 福崎店
神戸トヨペット株式会社 福崎店
株式会社神戸マツダ 福崎店
兵庫トヨタ自動車株式会社 福崎店
有限会社 福崎石油
有限会社 新栄自動車整備商会

製品製造関係

株式会社マンダム福崎工場
福伸電機株式会社
ウシオ精工株式会社
モリ・リフォーム

食品製造関係

株式会社もちむぎ食品センター
もちむぎのやかた
廻鮮寿し たいの鯛 福崎店
ミモザ プリマヴェーラ
蕎麦とさーもんと…有庵
焼肉ハウス北山
福崎町給食共同調理センター

情報関係

株式会社フォトスタジオカワモト
中井総合印刷株式会社

理美容

フクダ美容室
アレキサンドル de アバン 福崎店
spaim・Rinz rich county

保育

西部子育て学習センター
東部子育て学習センター
田原幼稚園
姫学こども園
福崎幼稚園
福崎子育て支援センター
サルビアこども園
高岡幼稚園
八千種幼稚園

医療・福祉関係

CHIAKI ほおずき福崎
内海慈仁会 姫路北病院
福崎町養護老人ホーム 福寿園
たかはしサポートセンター
小規模多機能ホーム もちもちの木
訪問看護リハビリステーション
ふくさき

公共・公益

福崎郵便局
福崎八千種郵便局
福崎新町郵便局
福崎町立図書館
姫路市中播消防署
兵庫県福崎警察署
防衛省自衛隊兵庫地方協力本部
姫路地域事務所

地域活動

歴史民俗資料館
柳田國男・松岡家記念館
福崎町文化センター
福崎町教育委員会 社会教育課
福崎町観光交流センター 株式会社PAGE

生活を豊かに

株式会社メディカ・ジャパン 文珠荘

活動場所登録ありがとうございました

さまざまな体験活動を通して、学校では学べない勉強や体験をしようと、兵庫県下の中学生を対象に実施されている「トライやる・ウィーク」。福崎町の中学2年生169名を受け入れていただける事業所・商店・施設等を募ってきました。その結果、「地域の子どもたちを地域のみんなで育てる」というこの事業の趣旨をご理解いただき、上記の活動場所を登録していただきました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

福崎町「トライやる・ウィーク」推進協議会

<新規登録のお願い>

令和8年度も「トライやる・ウィーク」の予定をしています。新たにご協力いただける事業所・商店・施設様がございましたらご登録くださいますようお願いいたします。

連絡先：福崎東中学校・福崎西中学校・福崎町教育委員会